



チームで取り組む歯科医院のカイゼン ～人生を豊かにする働き方の提案～

株式会社デンタルタイアップ

代表取締役 小原 啓子

令和2年の春、新型コロナウイルスが世界中を襲いました。危機的状況は何度も繰り返されましたが、私たち人類は様々な対応策を生み出し、現在その状況を乗り切りつつあります。

歯科業界においても長年行ってきた標準的予防策の徹底と、新しい防御の在り方が問われましたが、私たちは、歯科医療を通して健全な全身状態で安定した生活が行えるように、地域社会を支援し続けています。特に歯科医院で行われている歯周治療や予防は、全身疾患との関わりが深く、疾病の予防や健康寿命の延伸につながると大いに期待され、その存在価値を高めました。したがって、その歯科医療を担う人材の確保や育成は極めて重要であり、そのための職場環境の改善は必須となっています。

働き方改革は、2019年4月より関連法が順次施行されました。勤務環境の改善がなければ、健全で継続的な医院経営は成り立ちません。2007年、2014年に行われた第5次・6次医療法改正は、働く場の改善を組み込んだ、医療の質を上げるための法律改正でした。これらの法改正に合わせて、厚生労働省研究班より「医療分野の『雇用の質』向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き」が策定されましたが、その内容は経営学を基盤とした組織の仕組みづくりそのものでした。まさしく厚生労働省が示す手引書には、「雇用の質を上げると医療の質が上がり、その結果、患者さんの満足度は向上し、歯科医院の経営は安定する」と、指摘しています。日本歯科衛生士会においても、この考えを加味した新人育成のためのガイドラインを示し、効果的な人材育成方法を提示しています。

女性が多い職場である歯科医院は、個々のライフイベントによる影響を大きく受けます。スタッフの一人一人が安心して働ける職場環境の整備は喫緊の課題です。勤務時間、組織体制、環境改善、組織の見える化、人材育成システム、数字の見える化、独自性の確立等を通して、組織の強化は図れます。

この度は、仕事や家庭の両立を乗り越えながら持続性の高い職場をつくるための実践的な提案をいたします。新しい未来への礎の一助になれば幸いです。

略 歴

1980年 広島歯科衛生士専門学校
(現：広島高等歯科衛生士専門学校) 卒
1980年～2006年 広島県歯科医師会勤務/広島口腔保健センター、
広島高等歯科衛生士専門学校担当
2004年 産業能率大学経営情報学科卒
2006年 広島大学大学院社会科学部研究科マネジメント専攻
(経営戦略研究室) 修了
2007年 デンタルタイアップ設立代表
2011年 株式会社デンタルタイアップに法人化代表取締役
2016年 広島県「仕事と家庭の両立支援」への企業登録
2017年 公益社団法人日本歯科衛生士会「歯科衛生士の人材確保・
復職支援等に関する検討会」構成員
2017年～2018年 公益社団法人日本歯科衛生士会「歯科衛生士に対
する復職支援・離職防止等推進事業」歯科衛生士に関する
共通ガイドライン作成委員会構成員
2018年 広島県「働き方改革実践企業」に認定
2018年～2021年 客員教授神奈川歯科大学短期大学部
2018年 一般社団法人日本経営士会主催「第9回ビジネス・イノ
ベーション・アワード2018」『歯科医療業界働き方改革賞』
受賞

マネジメント(修士)/経営士/経営士能力開発研究プログラムリーダー
歯科衛生士(日本歯周病学会認定歯科衛生士)

主な著書

「これでチョ～カンペキ歯科衛生士の新・歯周治療の本」	1996年
「花の歯科衛生士」	2000年
「輝く華の歯科衛生士 ～これからの歯科医院経営をチームで考える～」	2006年
「歯科医院の活性化－現場で起こる変革のドラマー」	2009年
「『マニュアル作りで仕事を視える化』仕事の視える化part1」	2010年
「『5sで仕事の視える化』仕事の視える化part2」	2010年
「『人財として人を育てる』仕事の視える化Part3」	2011年
「『ホンマモンの歯科医療スタッフ』仕事の視える化Part4」	2011年
「歯科学と経営学の融合『歯科医院経営の心得』」	2012年
「はいしゃさんの仕事段取り術」	2014年
「はいしゃさんの仕事カイゼン術」	2016年
「はいしゃさんの働き方改革」	2018年
「歯科医院の経営をチームで考える！ 歯科医院をまとめるリーダーのための教科書」	2020年 (上記医歯薬出版)
「100円グッズから始める歯科医院の整理・収納アイデア集」	2021年 (日本歯科新聞社)